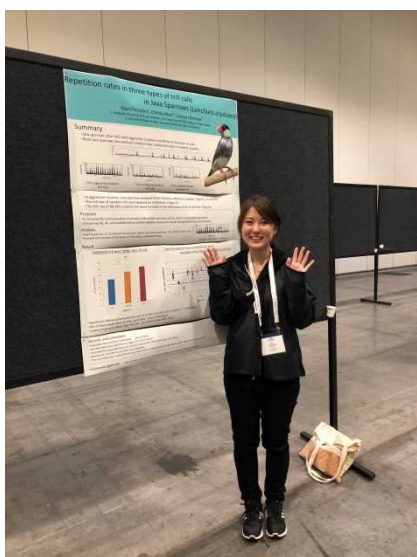


International Ornithological congress 2018

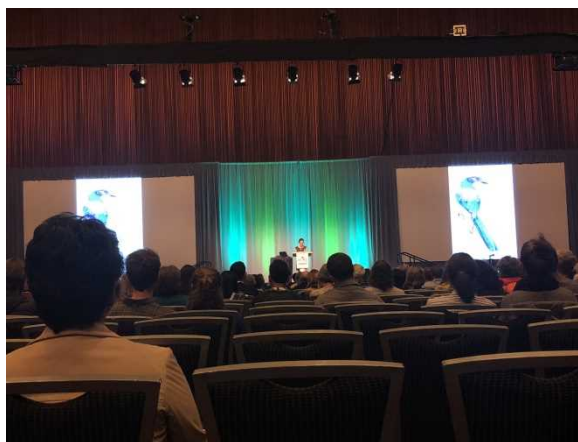
総合文化研究科広域科学選考生命環境科学系岡ノ谷研究室 修士2年 古谷明梨

「博士・修士課程学生のための国際研究集会渡航助成」の支援を受け、2018年8月19日から26日にかけてカナダのバンクーバーで開催された International Ornithological congress に参加した。当学会は4年に1度世界各地で開催され、研究手法は問わずに鳥類を対象とした研究者が集まり発表を行っている。実験室での実験や長期的な野外調査による研究など、様々な領域の研究者と交流を持つ機会が設けられていた。

私は、21日にポスターセッションの”Behavior and behavioral ecology”というパートで、”Repetition rates in three types of trill calls in Java Sparrows (*Lonchura oryzivora*)” という題目でポスター発表を行いました。内容は、ブンチョウの類似した地鳴きの比較についての研究でした。ポスター発表は2時間ほど行われ、渡りや認知に関する研究を行っている研究者からコメントをもらうことができた。また、今後予定しているフィールドワークについて、実際に野外での調査を行っている研究者からコメントをもらうことができ、非常に勉強になった。この学会に参加したことで、現在行っている研究や、野外調査について考えるよい機会となった。今後、この経験を研究に生かしていく所存である。



<発表会場の様子>



<シンポジウム会場>